



2025年 1月 8日  
第117号

JR 東労組   
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一  
編集 情宣 担当  
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申  
第5号

# 「南武線ワンマン運転について」 に関する基本申し入れ **本日提出!**

## 【基本申し入れの項目】

1. ワンマン運転に関するお客さま周知を十分に行うこと。
2. 施策に伴う人事異動は、本人希望およびキャリアプランを前広に把握し、社員の資格や能力を十分に考慮すること。
3. 異動に伴う意識づけや事前通知等は、社員の生活設計を考慮して1ヶ月前には行うこと。
4. 異動に伴うロッカー整理等は勤務時間として取り扱うこと。
5. 車載モニターをよりフレームレートの高いものへと改修すること。また、各駅のホームカメラに対して日差し対策を講じること。
6. ホームドアセンサー支障について、運転士側で判別しやすいように改善すること。具体的には、運転士が運転台からセンサー支障が判別できるように運転士側の操作盤を設置もしくは改良すること。
7. ワンマン運転に伴い、各駅の停車時分を10秒拡大すること。また、折り返し時間は案内設定および番線設定を考慮して6分以上で設定すること。
8. 案内設定において、「快速待避」および「各駅停車待ち合わせ」についての自動放送を設定できるように改良すること。
9. 始発駅含む各駅において、快速および各駅停車待ち合わせについてのATOS自動放送を追加すること。また、各駅ホーム上のLED案内表示板による「〇〇駅まで先着」等、快速電車待ち合わせの有無に関する案内表示を継続して行うこと。
10. 停止位置不良時の取り扱いについて明らかにすること。なお、ホーム端を越えていない数メートル程度の停止位置修正を行う場合、エンド交換せずに停止位置修正を行えるよう検討すること。
11. 人身事故や踏切事故、異音感知等で列車を長時間離れる場合に限り、指令による肉声放送をリアルタイムで繰り返すこと。
12. 客室防犯カメラを通信式に変更し、人身事故および踏切事故等で長時間列車から離れる場合に限り、当該列車の車内の状況を指令が注視できるようにすること。
13. 車載モニターを注視しながら確実にドア扱いが行えるよう、物理スイッチを追加で設置すること。
14. 委託駅を含め、異常時における応援体制を確立させること。
15. 線区全体におけるより一層の安全を確保するため、可能な限り高架化をめざすこと。特に、久地踏切の対策を強化すること。
16. 多客時における応援体制を確立すること。具体的には、駅社員による放送や乗降終了表示を実施すること。
17. 異常時対応を含めて万全な体制を確立するために、南武線全駅において終日有人化とすること。
18. 異常時において、NHK放送やウェザーニュース等をV I S画面で放映できるようV I S機能を改修すること。
19. ワンマン運転における教育・訓練は、社員の理解度を把握し、社員から要請がある場合はその都度対応すること。具体的には、ホームドア故障等に対する教育や人身事故および踏切事故等を想定した現車訓練を定期的実施すること。

## 全19項目を申し入れ!

# 組合員の声をもとに交渉を行っていきます!